頗可憂む바가有하い當局の痛切む飢路無縮少할수도업勾同此幹部に

| 対に海運界充實의見地豆早刊也は が依めらに不得己他の命令政権割 特可豫築緊縮可此時到底の十三年

도록折衡中 つ 라 ぱ 라

ト岡政務總監의大削下の極度의緊 建設費和京鐵局 新線開通や絶無? 一、奢侈品等의輸入況言課堂主夢 四、輸入稅改正可關的意見

断豫第中鐵道建設改良電ブ如何す 三、 州方針の依めの縄成ヨニ來年度朝二、輸入品分類の關党事項

物品コ課税價格の賜む事項

二、協議事項

成可當初別總督四、

最新

式到

単者がいる とは先社会 3 振興斗 6 日子可青年可實任中義務之中

かー二千萬者ながり可民衆最別線は青年号か!心が見野路等が8 明の發展のや司をおび立 **規争 当 熊陽 りっこる 모己 ヒック**

当大廠省の分承認が四異畿に20~年同局の此の對から客申が内容以外にからの分別の日本記述の異議に20~年間局の此の對から意見を徴めた。 銀行重役俸給

「銀行車役의俸給当整理当意棚で(東京電) 政府に行財整理三特

十一のの使用がヒスのコルの圧殖銀借を織中で町右上貯水地の楽堤管主豆最一変砂の成立可の目下財團設定手最一変砂の成立可の目下財團設定手最一変側山電氣鐵道株式商祉と金五十五金剛山電氣鐵道株式商祉と金五十五

長壽曾号得前とのけ 震薬や一二瓶 受服 望いみ 上身體 の内外部 小とで 前健强 か 中 燃薬・ 一 二瓶 受服 望い 中 工身體 の 内外部 小とで 前健强 か 中 然 が け 此薬 의 驪効 計 や 已服 人 의 實證 の 有 하 와 不 必 多言 の 오

付かけばみ

年 一般航路や 約六十萬圓

収하게号模様の白みの有が上此の資金調達の拂込音徴の有が上此の資金調達の拂込音徴

以内豆ヨリな歌の中の服用かなり

山谷歇價豆有效む靈藥の

一瓶의原價

價の對から

一個時一次服의 薬質の六銭

朝鮮恩給

金

の豆墳船が立更が浦鹽線의噸數墳本軌路의一隻当一箇月平均一隻半規在配船數二隻。三隻の豆又裡日 **巡号行めと經費總額二十萬圓이包** 朝鮮補洲聯絡航路の四萬圓을新団比中の七上海航路コ十萬圓日 **削減少의九十五萬圓이要求되吹三年度의百十七萬圓에比하야約** 十三年度의既設航路と縮少なり **愛令補助かと外の既設線中元**

度す 實際 三補助 コー 額 い 昨年 コ の速可墜船が日明丘反向

係上補助額의如何是即時會配其物 些少한苦痛の次合中朝趣の在から

成立七百五十萬圓程度의範圍内の政党七百五十萬圓程度의範圍内の政党を受ける。 **胆開通後と各方面の모け難工事**5 部に殆可全部刀成鏡線引全通可投

十二日かい

興上 郵便所新設

中日早日開催党党関級査事務協議 稅關檢查辦會議 諮問協議事項 丸川局長歸京期

醫美

導豆府内各處言視察が立十二日午名の十一日에人京がの總窓府의引生國商業學校長滅鮮視察團六十餘 依七時早己朝鮮『豆型』の分段務總 商業學校長視察團

没點當否の關立意見 、輸入小包郵便及鐵道小荷物免

柄單位等改正7日間で意見

重要物價表報告各商際义之品

の提出がらいい 監의晩餐招待の出席がいいい 女學校先生「藝技志與暫量餐祭署 日本北经の二地方の対与某高等 観いコロシに入 可養成が50次元

岡山邊學士

岡山鑑恩士 熊本醫學士

Ħ.

其他協議事項

關於事項

11-2(\$6.05

數數 8-24 11-625 田语[第10-45]段 1-00

P. T.

12.55 THE

其其實

6-40

施政品具が立以酒早亡間が過去り

証月と一時で 輪入粟

引下實現?

土磯足新文明新社會の共鳴かな! **모己ヒ가?自愛が中現時代種機械** 務官の此回實地關查黃澄豆孙三南 有의學災ロ農村의生活金物版が出版機會最開催が失い日今年のに稀せ及税關支票検査主任金召集が中 総督府の分に十日早已投觸検査課

良心かび青年をかり酒趣青樓引出や民族中や豆し、 学司が引!維者に下の世上で誓? 学司が引!維者に下の世上で誓?

見為俄の印己古古

金剛山電鐵

み は は は は は は は は は れ は で ら れ に れ れ た の れ に れ れ た の れ

今年度の特別增加目之質上 感謝事出

マナ此

享安

品補劑藥

五十萬圓借入

統形栗の関党刺鹿・引下り掛け盆

意 六百萬圓三要かコ折衷案や一千二基立擴張案の足対モ少不下一千五 分お尖口や口第一案即既定計監の

白萬圓、最小限度案oL一千萬圓得 | 日畢竟不得己第三案の依かと境遇 想め乙叶爲先既成線の分に停車場のこ共臨幽内の分進行習事業音楽 二条に到底が可望の無か立結局十 初의實行の三判断が吐第一案及第

州切追む故豆新線의擴張が使用習人五十萬圓內外臺分裂が守い喜必要十 の叶大體臨園の幾許의建設の暑に必要と七百五十萬圓程度プロレス 引力の大位機關軍忌空貨車等§率

最多完陸軍閥給의五千八百八十 人百九十三萬三千餘圓の其中人員

廣告自出い

と此の依的中十八新聞紙廣告以不望必要才 智小至小至今人為病水之可可以見放也數十萬人可口傳廣告是 至今人不傳

內部의器病外外部의惡瘡으豆

苦痛がその

· 日見 音篇 か

此萬病水七各症の有効かない特的年久蕨深む固疾の 特別並効力完全的成就합りい 一次人生의惡魔天光今足足毛男是天刘卫健强的内 精潔한新生命量の出生色は也의家族과천予量小랑的八刀毛 の無病水量服用別がのけせんなどの家族과천予量小랑的八刀毛 の無病水量服用別が

人員及金額是一萬四千七百九十 大正十二年以中期鮮內可恩給受給

大利益と望り不能が叶故豆後第3日が一故と開通後計上輸送上で一条の日鎮海線の軍事宣主要目的の **石瀬鐡三分に加斯で部分の継番号が加め極度の緊縮豫等の範圍内で** ハ오一方成鏡線全通の一日当事が 不好かとりいる見極力此言廻避す 餘裕가有한境遇三勿論の至來年度 現在潛手中可線の咸鏡線叫飼布 十四人文官恩給当二千三百五十七八人巡查看守退隱粉의二千五百二 態料の二十四萬七百餘圓の日日日 四十八萬七千五百餘圓巡查看守退七十八萬九千三百餘圓巡查看守退 人の兄金額当多が次の陸軍恩給의 來春京城の開催

物及其加工品도蒐集陳列하立此를呂바同共進會에に家禽及家密副産 朝鮮家畜共進會言京城の開催が刈り鮮蛮産協會の対來客四月下旬の 한다미라 機會豆材や家禽言首組豆材ニ繪畵

水からんなりのという。東京ないののでは、大きのないのでは、大きのないのでは、大きのないのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、

と家家の

「常備を良薬りない」

金鷄納은 極上品の

顔買み

t

o) 능

▲美國極上品金鷄納▲美國極上品萬病水

定價金 定價金

七錢五分餘

十拾

金鷄納(一瓶分量二十

廣告册

見

ヌ

ス

ス

の

の

시児無代送呈曾

勿論某處하고引換代金으로酬應引

| 世故三同地有志의請願の豆近々設し日後米郵便所が無から甚め不便| 成興朱地面の元成線興上驛所在地

奢侈品等의職入稅實施의影響 近々歸京智己の日郷里の一、二泊近々歸京智己の日郷里の一、二泊一の十七、八日頃の京城者の豫定の

大阪九條中通四大文**次**一的 合 一七七大文**次一的 合**

新學期生徒募集 **イミ卒業後依頼紹介む規則書要者二銭送む**簿記學一生損本院卒業生 多数官廳銀行會社 專修學院 卒案何人のゼス容易修得喜むめ學別開始十月六日不問年齡六個

| | | 號 | Ŵ, | 4 | 次 | ā | · 12 |] 1 | F • | | 第 | | | | | | | ã | 報 | | | 泪 | | | 廯 | F\ | | 1 | 贺_ | | | | | | | | 九年 | <u>=</u> + | 正大 | . | (| | = | 更郵(| 催三 | | (c | _}* | |
|---|--|--|---|---|--|------------------------------------|---|--|--|---------------------------|-----------------------|---|--|------------------------------------|--|--------------------|---|--|---|---|--|--|--------------------------------|--|--|---|--|---|---|---|---|--------------------------------------|---|--|----------------------------------|---|--|---|--|---|--|---|---|---|--|--|---|--|--|
| 機進斗 | が世現状5、四今後朝鮮内の勝貫力。百萬斤の오笠の後の | ココロ日本の分に監督闘係に輸出。 | が直動打上がどでからしこれについた。 本品のに低廉生齢の買入物のの三頭服 | 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 | تسبعون يستست | | 可影響 ・受対 ・いの ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | | | | | 王尚教当いは女科、「日時勢」が如何可愛化が | 「日中國絹布三大観大體十五 『斗刈 佐 | 古り切り中央のり頃と多示が突出して | の三十七圓の | 을 | 八『中分し三』 | | 四圓五十錢の四十四回五十錢の四十 | 四〇四十圓五 | 国の三十七『野別し三』 内 | 三次官教反十三鷹の十七鷹の 三次官教反十三鷹の十七鷹の | 0 1 | 供がいよけの単の増加を前後の時火 の動かい調査が出の 人 | 近可中國 | 可預想品の入め | | 新作三小で又集むオドルコン十月 質施後一個月間의奢侈品影響の陽 ^自 | おります。日本 のとは 本学的工態長の がある。 がる。 がる。 がる。 がる。 がる。 がる。 がる。 が | 桐布の動かい商工駅の分間査号 | 表目登り | 現立人のな合の豆、正確で數字 | 小包 | 税及 | 朝鮮線の対一個月間の奢侈品の幾日 | 月 競 | 新布影響 ** | | 少 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | 選挙合かけ | 194 11日本学の中では、日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日 | 自名以上、対の中間の対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対 | 体車場のコピス | コピロ十六人の最多数で、 | 3四百八十人平山 3四百八十人平山 | 의五百三十九人 元山十六人平勝의六百九十二 | 千七百七人新義州의二 | 京城の三十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二 | 列并以 |
| 一古丘 ブラズこの人 | 個斤の七達当豫想の 岡の中三順調管ガ連行 名 | ですり、東京の最高を使うないでは、東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東 | では、日本社のは、大学は、日本年度生産の野から中心が懸念 | FFN 翼系攀斗共水皮与NY 1871年一条年917章 1875年一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个 | 労面ける | ジュース 第四 | 食鹽生產高 | 岡名 | 京神 | 早大 | 의공 | スショのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、 | 人 佐かの影めら打撃の僅少山雪八円 景常 | 平常에相當的 注意当次の 關係 影響 | ミスリ比等의 不換紙解り 野から 傾向ったスリ比等의 不換紙解り 野から 傾向っ | 駒の円暴落の日と不換紙弊量抱擁物の | 占当影響の変化が少さい言次の1の島一間の蒙古の1別問題の2朝銀各支前鮮 | ガヨシ同時の二影響当附屬地ゴ日本の対シ國策上の一種脅威・感的 | | ・ | 内部外滅織沿線の三波及のヨスショウの部の滅織沿線の三波及のヨスションの | 大津平野の延むユ満型い営スポテ服場や山海 | ユ と フル 日 フル 日 | ないな疑問の中にご開 | मा । | | | 15 | ์ | | 朝鮮内生産品に入乃 | | 來の中國絹布と特別が外の七二十〇元十合の8日時機稅増加の影響の己勝(如う) | 費が安へいつと前述が状况ら続。當行の | 当が知ら三分の | | Q中國絹布可價格の勝引温次の151 度 | 茶がの朝鮮内ツ時勢が順應る次の一斤假豆思む可共が11時勢に生林價格の一斤低豆 | 1、七〇七 天二二二 | 户数人。 | 十三道の分布日、職業別の概要等につい | コマから、再昨年の統計上の学覧では、コマから、再昨年の統計上の学覧である。 | 「三工祭鑛菜」「各種菜務の役事が中 「有無難」「日本の一」「「「「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「」「」」「」」「」」「」」「 | MU内容がは、近年には、「大学」が同時のである。 近年には、「大学」、「大学」、「大学」、「大学」、「大学」、「大学」、「大学」、「大学」 | | 人の忌式樹張り増加が男立の歪がゆき。一萬五千九百 | 年前の「八千七百七十人の日次の」自由戦日四、商衆のア及多数の「日節今八」公務及日本の「日本の」という。 | □司並在留中華人の職業状態等一段主義人 | |
| | 山 一天一大二三大二三 大大型 大大型 大大型 大大型 大大型 大大型 大大型 大大型 大大型 大大 | | | 昨年中 五個年 場合 大 | 開 10、00至、10、10、124、1300 14 | M M | 海 10、大0、大0 10、七八十七 一千七 年 10年 10年 100 二 大王 大50 一九日 | | 都 三七、人人元、九〇 二回、八二、八三、八二、八二、八二、八二、八二、八二、八二、八二、八二、八二、八二、八二、八二、 | 阪 八六、〇一六、二〇〇 七、三七三、七八〇 一山 | 京 西 " | 出來高石 | 同の分開査がいの依め円左り中の | 所의出來高와朝鮮米의受渡高 三版 下の日本의主要 申請 | の外へ以外移出米列を相當型。京町の外の外の大力を出来のと相當型。京町の大口が対する。 | 日本日教と日米日滅収を三百 | の島二、三道芸除並外の七水稻、畑作龍山の朝鮮南部景主民並本年の早ま七十二 | 總督府調查 | 朝鮮米受渡高 | 日本各取引所 烧的 | 上 日 云 々 | | 戦の父スピの當行の分と中の四等 | 路が町方面其他의限庁中取引めた。親切が次の中かという司の最近鐘・取りを | 学取引處の勘説から銀行側の로と 田廻 19億遇の上断然ら融通의中止智力(象分 | 可能見せき新ない、随直当中に対する気のの取引がつの良好対矢が次の定認の一般 | かのと登りの日刊を引つりて實際上、充分に銀行を取引を有利確實的次の對「下旬 | 助。 | 金本立門が近ろりのである。明朝一天の一句境遇を久令なりい短期の商味が | 事業資金叫商業資金을區別하기プ 逆送機關되기の努力望지リ實際上の弓[性耳 | 開係言語がい智際의商業金融・米 | 十官 | の民全力 各注 登古 と 可 成的 の 形 な に な の | 當行의方針으로는所謂事業資金叫 | 古学田専務機 〇〇5 四緒 | 问 | 汎・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 「「伊量의境収」で多次の中日は ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | では ・ | 対職薬の從事から、可驚なスッショアン・コンプログラン・一条域疾験の足コシュアリアで | い言のよう 多大数三有職業の「過プローク」 | おうでは、これの人の無職及未詳の日間は、1000年には、1 | 歌・書風別がは、一百三十二月 入港の中華人の制制のロー百三十二月 入港の | P借入斗洗十小十二年9月 (大日二十六人2) 天目下의在留 「 A S 会計九千六百四十七月의三 「 A | * | 作 1、八七六 一点、七〇八 ① 朝藤 人 1 1111 人 11四 | | 四、五六二 一五、九六七四日市 | |
| 소유로디 의町BBB 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 | は「当人地方観察中のみれ」「世紀の時代のでは、「日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日 | ○汗は「サー・別許・金山・木・木・側中の分三、萬頭○京族外の洗出 | 學了our 文表古已以及才小上即可急這奈何▲京城網場可七日 出無國防衛等,將外等及以上口 | は、別グリ準備の未達が労働者 | ア・区耐力では近大大の一無限人力の三年東南の物質は、勝貴、音生 | 5 中▲ユヨー過敏や「経済界と「大きな」という。 大き | 五百餘萬圓の十三次0日本財界 はあり上旬の主要八個港口出超アー 砂糖 | へ近間の上漸大出超言機績から、両船の近間の上漸大出超言機績から、両船 | スニス奢侈開税会引上が三等大典船==== | 及量 衡 八組練目の の日 大株 | 5日と計画中の日日日 | 金町大林淺市氏三仲買人の日 | 八号の金甲淳閔載棋의兩氏の | 日是邓可宗以及ロコトリ申清明中の三朴文尙、秋吉正夫南氏」が、 | 所屬仲買人oL現在十六名2回 w 京 り 仲 買 人 申 記 | (未完) | 大豆 元、野 二、10 10、40 CEB | ラ ・ | 《献年加外小品雕》中州王好况 部布(朝鲜内各地早天 0)三作况引起 晒木 | ○村場 三漸騰から中旬以降日清化順謝 三必需處 □ 買入 耳札 | ででは、100mmによりでは、100mm | 監하斗端鏡期M入並大豆界之口 沿線物の1の論奥地物を殆 | 合格米三、公司公司公司 | 明ら頗可開散理の越月が交互を開立が外のと買入れのいる | ・ | ら1三手序處の対益々賢惜がユニー月間害と畑沓作物の三及から凶作 二月間 | 対吴が吹스甲加之浮展子歿生士月四州上幾分以降雨量見が吹스十二月四 | 100三時勢に張槻舎示め・火コーナ月間 | 題詞のユ日本逆送米三消化3~2000年である。 | 米当影響当因かい躊躇がご気と、「と、「大」を関うの日本の安保に日本 | 上旬天候懸念으로手持處의賣 | 而乃。金融 ou | | | 画り与引 同り輸出超過フー、一三二、〇 起 寛 | 200週の至合計四、六九二号 研育銀行 三、000減解えー。 七七 倫敦銀 | の前日表述プローラントの | ○題合計四日○、○○○國○ | 出三四六、〇〇〇圓楡入七四、「信川谷質易中・・・・入りいら島舘り質易「常風 | 十一萬五千圓の入超480年二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十 | 一五二四五、〇〇〇國の町一 | 〇三、〇〇〇個合計九九、四 〇三、〇〇〇個合計九九、四 市七、三匹力、〇〇〇個合計九九、四 | トラミュート))) またしょう 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 | · 皮里) 儿耳上间对日本主题 (2) 儿耳上间对日本主题(2) 儿耳上间对日本主题(2) 儿童 | 本對外貿易 電影 | 18年代の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の | .0°元次 117311 17次 47步 2170 1731 17次 47步 | 100 元 で で 元 で 元 で 元 で 元 で 元 で 元 で 元 で 元 で | 1 1 100 H 10 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 |
| こと日 コロセの人場の ナイナスチ | 東京株式十一日前四中國 | 24、10 4、10 4、10 4、20 7・30 7・30 10 4、10 4、10 4、10 4、10 4、10 4、10 4、10 | 大阪大新步調 前出 大阪大新步調 | 低 一 で 大ご 下落 | 新新大新。 三、 大新、 退粮 一、 大新、 退粮 | 司 豆胡 大心 九圓 | 111、111、111、111、10 (日本) | 10、20 17 18 14 15 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 | 大、色、七、た、七、名 編門で | さいる かこ かっこ 知豊 | 前日後止 本日初付 大山 의旅 | 入阪長期 十一日前場 減資 | 株式 | い市勢と商品稀薄の豆保勢 | 二三重成貫三角的小川の下京 三二甲九、米棉二圓十錢低、三品 叶双 | 雙女C十手D向 马声CO 子上 | 大金 唱 同 宝光 65 | り 唐 屋 司 int 26 中で 一世樂島 阿 ist 00 中で | (自木)佐 司 は、記 小品(白木)竹 一疋 「、三 小品 | 度 第一周 1.53°00 以 20°00 | 自頭山 同 元八00 元中 | 三角山 同二芸、00 風社 | 三星 同 元章(00 宝z | 本)九 龍 同 元次(OC) 小和 三 A升疋入1相 元至(OC) 小和 | 以城绵绿布(千18)一片 图 第18 第18 70 一月 | は 元二 で 元 で 一 丁 | 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1 | は、 ・ | 初付大山田田が | ★111m以下16 十一日前4 全型大型11m以下16 十一日前4 全型大型15 位列 | 徐 基计四 | 「一分当一位」 無影引 (二分3一位) 無影引 (二分3一位) 三回調測 | (一分当一低) 秋態号 | (八分の五低) 의験波を発展十四仙八分の一 (八分の五低) | 格七十個低東取岩 | 現場 | (十一日書) | 本外經濟電報 · 京 | 八州格 ———————————————————————————————————— | 横濱生絲紫地 | (月 湖 はの一は杏 畑 大引知 | 原条件 1920 | 本金利(十月)前前 | 出一高。 一次でご以内 の数力 にでのMed 一間的 | 平備高 17大公司市 | 本銀行券(十四) | 中市市 元·20、三三四、第七次的行政 元、元、20、三三四、第七次 第二三四、第七次 第二三四、第七次 第二三四、第二十二次 第二十二次 第二十二元 第二十二二三二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二 | 華展十年 (十) 巴 東 | |
| 小の天(武徳浦) 7 仏の世口を小豆 | 会行かの醍醐の中日露い語が一个節 | 人所買減圧症 一部 | は中七十鐘低價三三百五十枚 四節・イタス圏五十鐘の大引引し 三節 | 91七十六周三十錢 5 始党後反 一節叶軟弱의 歩闕三當地三九十錢 一節 | SPの今場の三阪地長期32短期 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | 素外ス肉追戦の80~87~44 ・ | ラマのOP 0.三人十圓臺閣門。9 6世 | は一日では、日本のでは 日本のでは、日本 | 果中日日新規買進の突起ので | 町袋がふく「彫りの豆」八十圓毫~ ハロム | 表種の閑散을持續が叶ブ笑り 後のからいまり | プローラ 一 | 急騰後一休? | | 可力が기景閣閣한中(前版)▲仁新のサインの東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の | 一附托かび回出の中間の参う●京阪 | ではヨリニュートリー がであるのので、一切であるのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ | 75(1) ▲果然の川들の株界 大獅 七新 | □卿○三十文尚○□九日附三郎 | 5 기도한다만○▲○零の朝鮮 大獅 | の三仲質店撮設のも当外上に対する | 5キロオヨハマ方針の台間立が 「大阪軍役」のP不扱い市場が扱い。 「大阪軍役」のP不扱い市場が扱い。「大阪軍役」のPropropropropropropropropropropropropropr | おと暗中의陰謀がいるが、枚501形勢豆八十億賊門。8階落 枚 | 対がある。「日本の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の | 対 N の の の の の の の の の の の の の の の の の の | 大新八十圓闕門含陷落 | ●登りを登場を受けるのでは、 | 151年二十枚祭9085年 九十 | 注力なら異常観がリタ場で | 到不成的立作日早日新田? 经上 | 十銭低の川十四面三十銭の「魚京」 | 少期責合が十分最小に向き、止比較の不一なの色の昨日로早已 然閑散 | 基が円重役方針の影が一般 七三百 七大新の俄然が急騰後一息 近光影 | ラリカシの子庭風の歩調を ロニナ | 東方道。「牙耳」二十四 | 低 | 受任▲仁新保勢▲錦新四(鉄高で) | 取三十錢低 ▲大 小 七 口當曲(短期前止34今止比較) 並後漸 | 株子兄け低落의歩削り気が オ四十二十七十二十七十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十 | 野川傾向の足短相質買株製 | リ前止は中五十銭低落の中 ・文学 ・文学 ・文学 ・文学 ・文学 ・文学 ・文学 ・文学 | を再次反覆のSCとい事党の「十銭低Sを再次反覆のSCとい事党の「十銭低S | 月日の一年の「日本の「日本の「日本の」「日本の「日本の」「日本の「日本の」「日本の「日本の」「日本の「日本の」「日本の」 | 静哨王及和証明大断oll法院で七十倍な多調を示めた大新ol一体状。3個向で | 場諸株無勢 (数50%) | 取 間 湯大 - 男 つひらの料 今世 強収 - 一 異の原 | 新 1/12) 日石 文、3 種新手 | 石 MA 10750 11700 | R Sama TR 12700 開設的 |
| 지사에 전혀 하였다라 아이네 나 | 三五、五五 | 五〇〇三三五〇四三五〇四三五〇四三五〇四三五〇四三五〇四三五〇四三五〇四三五〇四 | う 北 一 ミ 三 三 モ 玉 玉 | 九三五、大五 | 的 | 期米 | 市川、成清의貿三百五十枚 | 新山井、新田、閔裕の錦山野山山町 東京五十枚 | 新浜般柱、南川東の田中市」の登: 四川東京西が | 取 白井 李青의實の田中 ▲第 | 区場 賣買關係 一般的 | □賣の有田、洪股柱、吉見、田▲第 | の当中、新田、絵画秀、岩容・陝陽の山の一山の田、山の田、山の田、山の田、山の田、山の田、山の田、山の田、山の田、山の田、 | の成高の賽列南の買品二十一本第で見る四十枚 | が一新田、関格第四層の田中 山井が川川の電子は二十七 | 常田の質の吉見、田中、定別も日本第一 | 場實買關係一十五四 | 7 33、70 110 12 15 15 16 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 | 北十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二 | A (1,10) (40 (M) | 三八四 一つ 一つ 一八十一 | (前 城 / 本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) | 累計二十萬六千八百六十枚 復小沒 | 「明」賣買 合計八百六十 ▲第二大第六十名 | 四十錢 拓新十錢 安取五十三個 | 上新十錢 朝紡五錢 鋼新 景樓 n 上 | 安取十圓大新十六圓高可和 | 一 飼新八十一個 拓新十五 九十七個 仁新三十一個 朝紡三十5 | 定 京取二十四國 仁取▲第一 | 同▲仁新十銭高 | 取十錢高 ▲大新七十二五十錢 | 当品で 8K叶(短期前止い今) 三瓦路 | 枚の不過から、こり市の心体、硬勢等を入っている。 | サード では、 は、 は | 是付止不成が多く十十銭高、一阪地圏五十銭歩鸓一口色の早仁」でする | 双三付止不成の三十鏡高の一落が名が出来る。 | 七十七圓步嗣の給む後七圓三丁反 | 三型分寸寸関下式ツ十下十二節の大反高歩腕弓五十銭の止があ立三 | 健岛27七十七岁二十楼州山(9)前止一年晚地短期大新了前止信息,昨後等 | 場面亦無勢 | 易大昕文高一百 | ○八十一國四十錢の大月三 秦長 ○八十一國四十錢の大月三 秦長 | 十一個八十銭の値上が欠△東京中一個八十銭の値上が欠△東京 | 11、11、11、11、11、11、11、11、11、11、11、11、11、 | 増引長期、短期が三叶下夢(大台)は三貫地の減数が中今前場。第八節 | 岩壁の館新の野型人気空四郎と脳水臓大耳の娘の観定碧気運気気寒水脈 第六節 | お妻が帰係が見る中国の歌 第四節 | 大阪電ン 1977 神楽元代史が 前二節 | コミとうとの形成一千元年一大 |
| 文生家 小心为处 篇句 | 例 · 二十週七十五銭 単化 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | 文 首为 (11)女子/ 周節 三十個八十五鐘 —— 東部 三十個八十五鐘 —— 東 | 10 三十圓八十九級 | 節 三十圓八十九錢 后 | ■ 三十個八十九餘 三十個八十五倉 | 即三十一門八十九組 二二四 三十三十四九十九組 二二一乙 发 们 村 | () 三十個八十五錢 一百十個八十五錢 一百 | 世 三十週八十五銭 | 八十五錢の豆場舎止おり高低 | 十節 當中兩限の17元成の十先 | が八十九銭の三節同債等示め | 九節 萬中駒限の以不成のけ先 七 | 三不成の「十先限。三亦八十九錢」「京一二十五銭の」反高を接が立當中 | 八節 阪地九節四十九錢0豆一株 | 常中兩限の一大成の一大限の一大 | 節 阪地八節五十銭の反落 一石 | ○三子・限○八十九銭分れ小 三反司 | 7日 警長611不式り 4中長611九 萬圓9/面 阪地七面五十五錢9 報 上旬9 | 297小長が中 第号目 | 1重中市長の11下式の十光限の11幾分散11節 阪地で節が早級51報を1準備引 | 一九銭外刃小戻がい、五銭万五銭のよう即、五銭万 | 1 新 阪地五節五十級引小高 · 戶 | 201八十五銭の三尺落のけ、アコ | 節 阪地四節四十九錢인又 叶马 | 九十九錢〇三先限〇八十九 便獅 | 五當限の不成の中中限の以三局勢が 節 阪地三節五十一個の第一人時代 | が てはこの はいこう この 意音歌 | | 「動」ないと、現のリニート、関 々コは 一節 常限の不成の子中限のより三十 | 方の記事事をおいる。 | ドル・東日報Mareckコエドは「五厦以の)の一年の個里の十三丁高便三、吐厄」 | の至めの阪地初付三十五園「コン歌 | 支持が十分限令八十五銭の一号の長 | 「好い中限らん十九銭の佐然」 引依然に及落ら報告が場向に再り取りませ | 五節三十六銭の豆止償三十 場の反とコガーで低タスないるで | いっしたごう かいままれる 関三十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二 | の早光限sin人十一種オリ瓦 祭叫共司中限spii二十三種九 樂觀が | 入めの阪地二節三十七銭2か同等十四八十八銭の場合的な後十日三十四八十八銭の場合的なる | 便豆叶三十丁反落의報器號 終幕 ©L阪地初付三十五圓四十錢 今一日 | 場(膠着) | 四期狀計一即 | 三四四九 三四四一 入低 本期總 | 三四四二三四四四二二高,安實總三大〇九三大一一二高,先二三五三十三五五八二二二十二二十二二十二二十二二十二二十二二十二二十二二十二十二十二十二十二 | MENTER MENTER THE | 地切米比較 | 1000000000000000000000000000000000000 | 美元 スペース ここ | 方 男 米 十 日 184 本 : 美 | |
| 图) 阿尔伯奇奇罗伯马马 Be 对图文 对牙 | 局 | 新一年 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | THE OUT THE T | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 三元七 ニテセロ | *** | EEEC PASC | 10だ … 10だ … | 和 | ***** | #100 H100 | 7400 500th | 取答 為 | 名前、堪谷、堪利朝紡 | 取市場賣買價 | $\ $ | の硬氣会助長が尖がいコー教の一般の | 日言には財界の楽観が呈むの▲女子の質易の出超一千五百二十四 | 見の司司が四一方の三七九月 多度 | 以弱 登頃向の有がい 當死の一般は一般は | 石拂下說子由 bool 可 手當米臺 「款 | 到 双 地 | た が 別 日 | ずた事でよ 現物製 | 「策彫の時機量利用なご気が 十月字/如何を 展開書もえ?大闘も 九月末 | /如何可要期望是以?大量三九月末 (31過不足等賭材料31可實豆 详 | では彼岸外の91早冷與否外鎌 同大豆 (現物教) | 「瓦落可除地以が」に対象の四十月中 | 「円此邊5分四五十丁又七五九月中一孔圓의時勢が可當が中立云 釜 | ニニ本年米作の数字。 概算が | S下의暴落oU無かららめり 第三節S下의暴落oU無かららかり 第三節 | 材料に既可一巡討後の可三第一節 | 「豆汁三阿乃至元割斗平麦!」 | ででいる。 では、 ではいる。 では、 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではい。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 | おい娘の野麦作なの要式中 対武 | ・錢竈外刃瓦落留磐の見今前 ・ 殷出、五萬石拂下殿山共司三十五 ・ 면방 | 三根線の中コロナ昨後編の の一 | 今朝阪地의養天高報が斗空。 お年 お年 | 告がガヨダ叶果然今二百二 明年 の上到 | と影響のない の様 | エピー・ファー・ | | 石製 人の、一〇〇 引き限 110、000 駅で | 1 1 100 小利 | 三十二十十十十十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二 | 三十個七十五級 | 三十個九十一個話 | 定 债 格 豆一米 一豆一米 | - |
| 구 여러가지(사)리성도 자의와 잇신뒤로 | 月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 | | 1050 - 1050 - 白動 | 15,00 大夢 | NO | 三新香 | | | 三里 三三三 | | ·差: | 1147 … 1471 | 新毛 L | 東正 | 限 先限 當限 先退 株名 | 三十分個 | 等検査 三十六個ペイダ | 엔 - 를 등 | 斤斤 | 神 力 一斤 九錢二厘 | 物分別 | 1 442.2 | 3 | 現物觀良丟、10 同軸力 13、10 日 | 十月中昌三 | | 見る。お、同神力をなら | 高公平 十月末 三、空 | 九月末 | 東貫高 一萬二千石 | 十月末 三、名 | 十月末 三、七 | 中 (十一日前後) 同同 | 上米延取引 | | 19疑問の比号の胡写をイブロシーでは、19を開いいません。 おいりょう はいい はいしょう はいい はいしょう はいい はい | 20分配におけばがの十銭の一同の間の何の様様のけ▲胡らびが一同の同じの | マリ生活状態을證明を見る同 ・ は、ファッチのフェッションの ・ は、ファッチのフェッションの ・ は、ファッチの ・ は な は な な な な な な な な な な な な な な な な | は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで | 寒のブラ豊作りは日は三八 黒中側回塞のブラ豊作りは日はこれ | ・情切が기吐脱原でニスが同茶煉√・するら見谷~などののでは、まず、 | いきたら背面の上拓液会社同 | ナーカスピ人同情のと言う 舶来最後 | À | 立を形木所方と取り物数が 断制秋夕期御寒臨迫なら不 (同)は そのし 取り 市場 サンミリフ・ (単)は | 順号等のかみできる。▲白米(一番)の「おり」では、「「「」」では、「「」」では、「」「」では、「」「」では、「」「」では、「」「」では、「」「」では、「」では、 | 世子金命学館からは後世の | ▲・川海岸山美国の名名 | |
| 니다로 「와가리 시계와반지 <u>가</u> | (IE) | 000 000 000 000 000 0000 0000 | MO BO MO公司 | 北京 北京 | | : ¹ | 取 | 答 | 出 11公 11公 11公 11 | 上 | | ₹62 II | | 10110 10110 | 是 | NE TO A SECOND | 東洋製薬研究育首(高海 | | 町三丁 | 全治法者無料第本 | を通知すべせ 賣 | 革治の引 | 長二八三番 | 松田慶之 | 川米豆取引所仲吳人附海岸町三丁目 | 「解学リニアョー・アンドー・アンドー・アンドー・アンドー・アンドー・アンドー・アンドー・アンド | 長六〇二・五三六番 | 典於仲買店付品 | 岸町三丁目 | (是 代量) | (但日本製育版館の一形色の如何(全)) | 、二五〇 | 小 、 七五〇 | 小、四五〇 | 1 t | 大文 一、一五 | 瀬服用 五、五〇〇 | 機形中品 1、100 時 | 混入煉釦中品 一、四五〇 站 | 高形上品 一、四五〇 普 4 | 上中品 一、四五〇及同附四新線形上品 一、七五〇洋機械 | 如裡新玩 | | 春秋如 | (大成精米所の分) (王) | を対し、 | 川宮町産 | 澤正次 | |
| | 英植 | · 玻璃 植 | 兄 | 文 崔永年 | 中死去專建告計 | 了廷稙以丙氯今日于泛七年 | 超型 寺 典 秀 | 全 注 注 注 注 注 注 注 注 注 注 注 注 注 注 注 注 注 注 注 | 系 子》 经在性影 | 大金 供中 長城郡北下面白羊、 | 前湖南線四街里牌等 | | 愛賴 甲子九月十六日下二次以計告 | | | 部 | 一丁 | = 17 | 本 | M X | % | 特価を受ける。 | | 無被損並 | THEO | WILA. | FUUNIAI W. P.ITA | NPUN (NPE) | | | 切取が | | | 但护 | 是記特 | 年上 | かま | 朝鮮 | 普成而會體泉代 | 府大家里101 | 勝一から上北海が行 | 大子・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・ | 流行特別大綱 | はいません | 多种· 買 | 不豆取引房 | 45 | 第 2 章/大派 | 4 |

마시살이사 오건이나 잇는자라 따라 시 소관중로 경찰성에 도난자 (출·자카기생회 맹주의집에가 처면성맹 이자는 등을 때용하다 다린 난일이

다니다의 田田寺(학리 8년)이 막기자 철저 범인지 중지 반기를 보여하다며, 산(內山)이 가 가꾸(느쭈) 디켓을

江華署巡查

一名收監

이시는 강영 배앗고소리를 모구심산반다하시는지 의치가의 在實一四이라는사면(南山面) 민양의로불ਾ 는바흐도하였는지자 남편(男便) 되는 표명이 (趙明朝) 하깃다가 도라오는길이 다음지못 물면하일이나서면시 송립사이 라하는사면의집에이(첫본라이라면 해일으면 된기자못차와 충혈되다 라보를 들어들어 장의을 감소주었는데 이 라 보를 들어들어 장의을 감소주었는데 이 라 보를 들어들어 가실시를 통해 이 하는 사람들은 바이지를 가게 되었다.

追悼

會

不良亞酒店夫婦

会公の以早中十年最終フ

사내중되중(中林洞)철십육번디움

ゼヒロいの外対 심삼일오후세시

의 정의 사용 사용합기 하는 조성대 (曹姓女) 황(第三大)이는 자난 중에 이십일 경 왕(忠南)보대 (宋聖郡) 주도 산면(珠山面) 왕률리(臺栗里) 사는 모 산면(珠山面) 왕률리(臺栗里) 사는 모 산면(珠山面) 왕률리(臺栗里) 사는 이 수산의 친구들다리고 그의 최조

주도회(日本建災遭難問助追悼命) 그의친구 구소구~~ 이 이 추도회(日本建災遭難問助追悼命) 그의친구 공다리고 그의최조(주 육개최합리이라는데당일의순석는 이 수산의친구등다리고 그의최조 각이 소난한동 포를추도하는동포는 량의술 할마신뒤에 박가는 피하고 자이조난한동 포를추도하는동포는 량의술 할마신뒤에 박가는 피하고 기를 가리다더라 김사건 회장이 되었으로 술감 기를 가리다더라

鷄鳴講習院擴張 のの対出中外の名式

亞州川造品社

强盗。格鬪

兄弟二人이

上特上特三圓圓 **经接货的**

上特上特上的 三郎 二十十四 五三六十四

を返送か州 도關係が一 圓 き要 吝萬若薬は地方代金引換의限さ 京城府堅志洞 保가無害 此以外せ絶蓋で深村가不精む時せ十回で設め되子삼注文のゼスカ 座七 京城

專補 門藥

特價 同紫色五十錢上 의最堅美も洋地

む株式場

하드라는

20日下 0日曾年5月

念切りかえた

말함것도입다고

히

자긔아

검속되뜻다더라(한흥)

曾員敷

아주심한것만들어도이러하

孤兒

는가런한아

일수가잇스나

生아달을

작년에 동경진재가잇슨뒤

暴雨

本青森

생환곤난

生活難ら
呈遺

0

江原道モ

小出(市内、智宗(貞洞)ののに対は

闭포에上母香이나 不小吗の小什男人用了計画部之の 七吴한里양이라五 **元智哲个小업叶田市(考任)** 勞農總同盟愛

의 소등이대단한배의 조원로등 총등 의 소등이대단한배의 조원로등 총등 下で、朝鮮労機総同盟)のグルー スコードの 可能外域 総同盟)のグルー スコードの 大名 きょう かんけいりしい

(支條面) 대청로(美國和)하시는의 사원하는(신로사의(極東新開能員)
지수(吳麗北)한라라(軍國和)하시는의 사원하는(신로사의(極東新開能員)
지수(吳麗北)한라라(軍國和)하시는의 사원하는(신로사의(極東新開能員)
지수(吳麗北)한다리자 난의원에 의혹 원(仁川)바면 > 로단이면지 건된 발등장(洛東江)원인하는 것이라는 것이라는 기를 바라지는 기계를 하시는 기계를 보다 기계를 하는 기계를 바라지는 기계를 바라지는

下凹口 当智한、9만되고지고」が ◇◇◇◇◇◇ 화기를 『더두덜

가의불만나서도나을것의율이다기 후 마업자인이함♡▲면질이죠라해도※ 대업자인이함♡▲면질이죠라해도※ 보다 하고호출음알지 배속에서 죠※

青象皮短靴 京城南 太昌是

鮮創

列

き 便 定 小、大 ナスニス

合資館計帯國省儉部京城出職部外交列經歷有한紳士を招聘 固定給有 慶北大邱府元町二丁目三十八番地(電話一七四番) 振将京城一〇二七〇 振将京城一〇二七〇

網買人士 ご 至急 可 大邱横町朝鮮 日報支局 oi 豆 開講或 oi 照像 中 古 印 刷 機 四 頁 網 壹 台 有 砂 ◆ 好

参考中,不是是 巴登马利耳头发生

●外面刀其附屬五品無代進呈 上等品工会

岩圓五松

●新聞名●配入がハ外注文がハ巴特が割引ないけの品質情選切卡良好を弊商する特色●

一藥餌扶吾隨所之

待合室の窃盗 は砂子豊富ゴイナ

● 予答の(性運)の 含からが過ぎ 号安保)のにはいめ 引くには であるのでは できょう かいが できる では、この | 小田(市内)を見るを女 はのは(保工)の では、この | 小田(市内)を見るを女 はのは(保工)を | 「おき」には、これに、この | 小田(市内)を見るを女 はいばんは、これに、この | 「おき」には、この | 「なき」には、この | 「なら」には、この | 「なら」

釜山分賣所

◎商品型蜂港品

草梁洞三四人

特別企

和金融的排液

出入能入

野い間波の父父叶日子(春川)一時の春川小會堂内の女飛行機の不明に去八日午後

是全八位

人生의不幸은心의苦外に

保かりかりた

七四番

國為特排遊

排液

三、紫八 当に

大、石門南面線員の唐津面線員の金貨線氏及各課長の臨席せ際の高

京城建路四街里

事務處理義閱覽並修其容不誊書

々の開発的の将来の注意ない。

台

の三種総合や諸平倉糧開催が午日

金預入

マンロ (人) 의 (人) (人) (人) 의個人으로 對決는 人格蹂躙等의 금식기당당구내의 사무를 취급되所의關食事件 그벗게도朱氏以上 데도소폐지하아 각구장 으로 6야職者救濟 勞資의打協 前者刑務 院)도압새바리고 각군각면의면장 平環のヒ公職者大會言開催

事件 口が当上經路安園の自動が日か 市園改整의急務失の中心口を外言が口をそれ、中福

親客中多少間不平り有め交兒바結日司會者朴聖熈女史의不注意兄 の対第一回通常會写開催が吹上回 車豆永川、慶州、浦項等地の出版去七日午後八時早已當地数會堂内 去八日午前七時四十分大邱驛愛記成北清津府浦項洞主日盛校の対と 版第二號發行の對や用務臺帶かり 局無事可散會
お
や
叶
日
引
(
清
津
) **与己面事務講評會号開하고本郡守** 店津郡唐 年面事務所の対 ニ去七日 務講評會

▲江原道泉峙內務部長○衛東地方 の中兄ののけ▲二世の ▲州豆豆的中五包香 **异松**

침들들의면접삼도를 当区民地でおいてな

版第二號酸行る對対用務臺帶하口記者)と地方水災狀况視察及魔北 ▲金洪默氏(本社大邱支局總務兼 去八日午前七時四十分大邱驛殼列 大認劇

| 春眼鏡当男|| 七八条内| 全七卷

△全國 各定價♥ 處小行 西 小中 おり 対二十段 開 情 備 愛ない、日本学のののでは、日本学のでは、日本学のでは、日本学のののでは、日本学ののでは、日本学ので

居

の日サ今般の高陽郡中面一山公立々長の豆科任めの満十三年間勤務治助氏に明治四十四年八月の常校治助氏に明治四十四年八月の常校 開催が火けらは(金浦) 『金雀山府の召集がら第二會議室で地公立普通學校内の分階別의宴』 沈務娘香課長の武務支署娘査主任の日本のの分別の分別の公司ののでは、「「日本の一個のでは、「日本の一個のでは、「日本 油學校々長の忌轉動:ガ되吹台 稅關事務打合 正、等外多數)(晋州)三升合一疋 三等唐木一

池田校長情別宴

赏 場所

5나 대라

陰八月十六日 十七 十

大概性的提供의三大特作映画大概性的提供의三大特作映画

◎頓大活劇出三人則三人

全八卷

九引星教教

三日間

立いに回日間及場所の質品の切った当州等側共済館の分と機八月秋夕当州等側共済館の分と機八月秋夕

全朝鮮弓士号網羅 開催育石っ市百中(釜山) | 対務局長總裁下の事務打合會会釜山府の召集から第二會議室 新造電車檢查 ◎大活劇人生의爭鬪

秋季弓術大會

から検査が火け口引(釜山) 價格五萬八千圓 A 爾亞米利加關 人 爾亞米利加關 人 爾亞米利加關 大活劇川豆以上大流劇一網打座 一網打塵電

5汨没めの不備의闘の無豆曇大活力潔重めの主催側事務幾人の準備

仁川

川公立普通學校の対与去|總計七百三十六頃の中コ價格の五脚 講 習 開 催 表八月中의仁川の対移出早生牛

薔花紅蓮傳 知品!

(期會量20月以中全

書堂教師二十餘名 4 召集がの講習 教師講習開催

日語、算術、教育學、地理、理 川三界七五頭中山で(七川) 関の下陽三一七 香川三一四 岡岡 大手六百五十圓のみを印仕向地

料奎煥、嚴主昌、申大腦 ●新任仁川署長大森三郎氏ニ去七日午前十時二十分租幌着列車忌着 地方人事消息

参照船や火岩山類目中 講師岩

日校通常會

7 3.e31

総地名人冒賓岩中 今日上諸君。豊老かられ 実められ の小気が吹解討かり爲みの市民大會等開催がたられ きかられ 可なかのか見刻に対めら相難日上諸君の務來豊念 さスシ じったせら ▲中日から地域から奉事ととっちれせら とるっちょうしても(建設) エネリ おらじ あから 著者子 諸君ら 五百5 50名可せらり けんの でしこがらしたい である でる可せらり けんの でしこがら 은공장이던지 건설하야 항산이업

中子見心のツブラ節然が、 一部を含む

平壌が民ながるが過言謝が

→品質の 遺 울 શ્ 에 七 良 幽 感 [人 둔 든 섯 의 어

恒

常

밀

0)

0)

小不忍致大 灰 (中就門易) 虫時頭食酒水猝輻腹 臨精中 触令痛積醉土倒痞症弱神暑 牙疫目不船不昏吞吐貧鬱傷 痛疾眩消暈服迷酸瀉血結寒

頭痛眩暈的 河路中級の 水土不服の

氣鬱逆上5 金傷腹痛の

む者な五幸福や身體の健康

0

는 오직

尺五寸の移性の珍品(専門家의鑑定年齢約二千年)と ンプリヤスカラニー十二尺末口直径I

50万、際から戦店の1全北井邑郡七寳面古縣内与新編時代의藩邑址足労年前大洪水明 追ぶ洲取引所の分米